



写真提供：UN Photo/Devra Berkowitz

# 第28回 ヒューマンライツセミナー



テーマ

# アイヌ・琉球の言語を知る — 国際先住民族の言語年に

国連は、世界に存在する約7000の言語の内、2680の先住民族の言語が重大な消滅の危機にあると警鐘を鳴らしています。言語が消滅するということは、その言語を使う先住民族の文化や知識体系もが失われるということです。国連は2019年を国際先住民族の言語年と定め、先住民族の言語への関心を高め、保護につなげようとしています。日本にも先住民族の言語、消滅の危機に直面している言語があり、その保護と継承が求められています。

2019  
**9.12** (木)

[時間] 13時00分～15時45分

[プログラム]  
第一部 —— 報告者によるプレゼンテーション  
第二部 —— 質疑応答とディスカッション

[会場]  
**台東区立 浅草公会堂**  
〒111-0032 東京都台東区浅草1-38-6  
参加資料代：**3,500円**  
(関連書籍代含む、学生割引あり、逐次通訳あり)

**アレクセイ・ツィカレフ**



**基調報告**  
「先住民族の言語の権利と国連の取り組み」  
元国連先住民族の権利に関する専門家機構委員  
先住民族支援と市民外交センター (ヤングキャリア) 議長

**関根摩耶**



**報告**  
「アイヌ語の今」  
大学に通いながらアイヌ語やアイヌ文化を広める活動に取り組む

**新垣友子**



**報告**  
「琉球諸言語とは？次世代への継承」  
沖縄キリスト教学院大学教授



[銀座線] 浅草駅 1番・3番出口 徒歩5分  
[都営浅草線] 浅草駅 A4出口 徒歩7分

**主催** 第28回 ヒューマンライツセミナー実行委員会  
**連絡先** 事務局 反差別国際運動 (IMADR)  
〒104-0042 東京都中央区入船1-7-1 松本治一郎記念会館 6階  
Tel: 03-6280-3101 Fax: 03-6280-3102 e-mail: event@imadr.org